

貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 ○ 東京都環境局
 (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成28年7月4～5日観測結果

7月2日, 3日に吹いた強い南西風の影響で, 貧酸素水塊は南西へ移動し, 内湾中央部から本牧沖にかけて分布しています。羽田沖から京葉シーバースにかけては, 溶存酸素量1.0ml/L以下の強く貧酸素化した水塊がみられています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布では, 川崎人工島付近において, 海底から3~4m上に強く貧酸素化した水塊がみられています(図2)。また, 規模も直近10年の平均並みに発達しています(図3)。

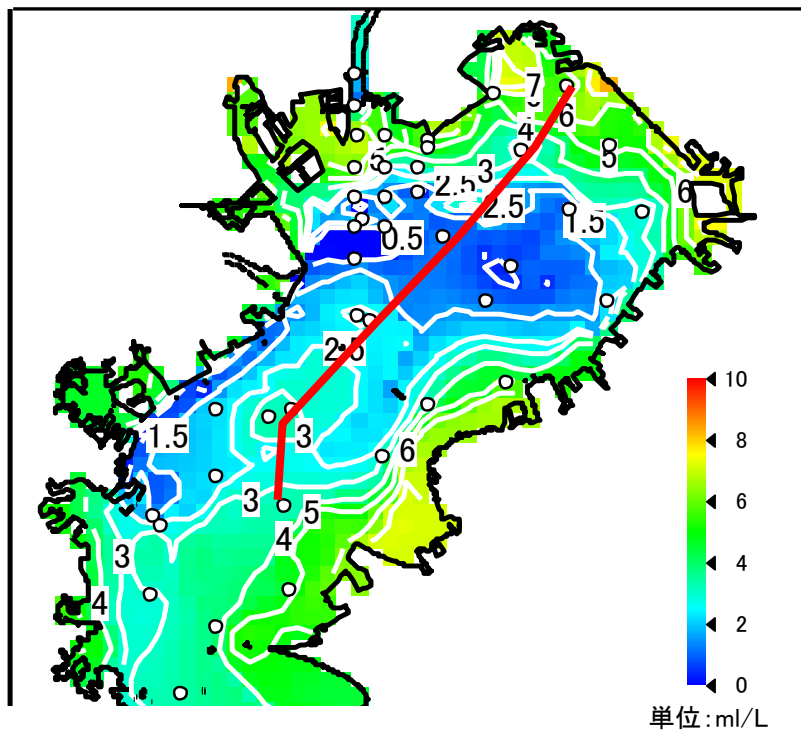


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

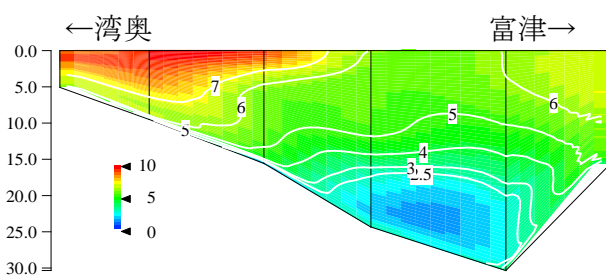


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

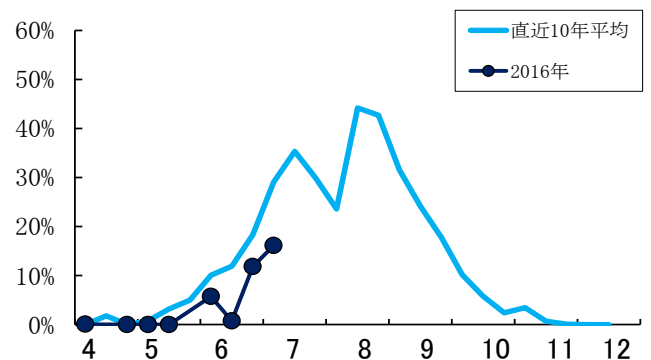


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)